

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第7回相模原市経営評価委員会		
事務局 (担当課)		経営監理課 電話042-769-9240 (直通)		
開催日時		令和7年3月21日(金) 午後6時30分～午後8時30分		
開催場所		相模原市役所 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	事務局	6人(総合政策・地方創生担当部長、経営監理課長、同主幹、同総括副主幹、同主査、同主任)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会  2 議事 「さがみはら都市経営戦略」について  3 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

定足数及び傍聴者の確認を行い、経営評価委員会を開会した。

### 2 議事

「さがみはら都市経営戦略」について

① 経営監理課長より、資料1、資料2-1から2-6に基づき説明を行った。

(以下、質疑応答・意見交換 ○は委員の発言、●は市及び事務局の発言)

- 資料2-5にある「市民福祉」とは、広い意味での、ウェルビーイングのような「福祉」ではなく、福祉行政的な意味での「福祉」なのか。(朝日委員長)
- ウェルビーイングを含めた広い意味での「福祉」である。(経営監理課長)
- 狭い意味での「福祉」に捉えられないか懸念がある。(朝日委員長)
- 表現については工夫したい。(経営監理課長)
- 資料2-5の「自立した域内循環型」の「自立した」とはどういった意味か。(出口委員)
- 圏域として「自立的に」という意図である。(経営監理課長)
- 全般的に図が入り組んでいて分かりづらいのではないか。(荻野委員)
- 一目見て分かりやすい図にして欲しい。(出口委員)
- 図はもう少しシンプルにしても良いのではないか。また「福祉」という言葉を「生活」に置き換えても良いのではないか。(荻野委員)
- 工夫して、次回の経営評価委員会で示していきたい。(経営監理課長)
- 資料2-5の上から4行目の「連携・協働、共創により」とあるが、これを戦略に記載すると、前の方のページになると思うが、そうすると「共創」という言葉に唐突感がある。「共創」という言葉の説明が必要である。また、「都市経営」を表す図と「共創」のイメージ図が同じような図であるため、図との対応関係を整理する必要がある。今の図を活用するのであれば、どの部分が「都市経営」・「共創」なのか、見せ方を工夫する必要がある。(宮下委員)
- 対応していきたい。(経営監理課長)
- 資料2-5の図の矢印について市として意図があるのではないか。(山元委員)
- 循環して成り立っているという意図があるが、方向は1方向ではないので、図については検討したい。(経営監理課長)
- 市民アンケートの概要が記載されているが、この後にアンケート結果についても記載する予定なのか。(荻野委員)
- 市のほかの計画では、アンケートを実施した事実のみを記載し、結果までは載せて

いないのが一般的である。(経営監理課長)

- 実施したのではれば結果を載せても良いのではないか。(荻野委員)
- 資料2-1 P21について、選択と集中とあるのに、定数増とは違和感がある。(出口委員)
- これまでの定数管理については、基本的に増やさず、むしろ減らしていく方向であった。しかし、政令市の移行後については、様々な権限移譲により市が行っている行政サービスの幅が広がっている。また一方で、職員の働き方改革の中で、育児休暇の取得者も増えてきている。そのため、その代替については、しっかりと定数で措置し、市民サービスに対応できるよう整えていく。昨今の本市の考え方としては、必要なものについては、定数増を否定しないという方向である。(経営監理課長)
- 表現をもう少し柔らかくできないか。(出口委員)
- P23の図について、位置関係を修正した方が良いのではないか。(荻野委員)
- 修正について検討したい。(経営監理課長)
- 資料2-5について、①・③・②の順番が良いのではないか。(田中副委員長)
- 戦略本体の見直しの中で、構成に沿って修正したい。(経営監理課長)
- 職員定数増の考え方は理解した。それに関連して、取組5-5は組織の内向きの話であるが、外部との関りは実態としてどうなのか。(朝日委員長)
- 市として、外部からの人材を登用しながら、あるいは外に出向いて人材の交流等を行いながら業務を行っている実態があることから、表現を工夫したい。(経営監理課長)
- 相模原市の「ヒト」の資源を考えた場合、市の職員だけではなく、外への広がりを意識した方が良いのではないか。(朝日委員長)
- P23の進行管理の考え方の図について、本戦略と総合計画基本計画の進行管理の担い手をP6の図に落とし込むのはいかがか。(荻野委員)
- 検討したい。(経営監理課長)

② 経営監理課長より、資料3に基づき説明を行った後、質疑応答・意見交換を行った。

(以下、質疑応答・意見交換 ○は委員の発言、●は市及び事務局の発言)

- 戦略の本編は良いが、それに比べて取組内容や指標が弱いのではないか。重要なのは、歳入を増やすことであり、それに関連する取組は1-3と1-4である。この指標に市の歳入を増やす具体的な取組を記載するべきである。(内藤委員)
- 市税収入を増やすといった直接的な指標を設定するということだけでなく、そこにつながる具体的な取組を指標にすべきという意見だが、この計画期間でどこまで記載でき、どのように適正に進行管理を行っていけるのかということを庁内でも議論している。(経営監理課長)
- 目標設定が低いのではないか。(内藤委員)

- 庁内検討においても指標について議論しているところである。(経営監理課長)
- 指標について、アウトプットとアウトカムで分けているのであれば、分かりやすいように表記した方が良いのではないかと。(荻野委員)
- 分かるように表現を工夫したい。(経営監理課長)
- 資料2のP23を踏まえ、指標を見たときに、アウトプットとアウトカムが分かりにくいのではないかと。取組内容に対する指標については、アウトカムを意識しつつも今回はアウトプットの指標を中心に管理していくということがP23の表現では伝わりにくい。表現を工夫した方が良いのではないかと。また、目標の設定は非常に難しいが、その設定については慎重に扱った方が良い。次回の戦略については、長期の目標として、よくよく議論を行った方が良い。(朝日委員長)
- アウトカムの指標については、質問の仕方や人によって受け取り方が異なるので難しい。(内藤委員)
- 取組1-3については、指標が設定していないが、直接理由を説明されると納得できるが、アウトプット指標を設定するといいつつも指標が設定されていないものは、資料だけでは説明不足なのではないかと。他の取組と比べると印象が悪いので、見せ方の工夫が必要である。(朝日委員長)
- 「目標」となっている項目について、設定できない部分は、「参考指標」としてはどうか。進行管理においては、個別にというよりは、全体をとおして評価できると良い。その場合、取組項目ごとの評価だと多いということであれば、基本戦略の5つで評価することを検討しても良いのではないかと。また、結果に対する評価をするだけでなく、指標が妥当でないのであれば、意見を付議しても良いのではないかと。(宮下委員)
- チャレンジしている目標は一つくらいしかないと考える。(内藤委員)
- 今回の戦略は期間も短いため、次の戦略へつないでいくものであると考える。そのため、次回の戦略を検討する際には、目標なども見直していくと良いのではないかと。(宮下委員)
- 他の審議会等で進行管理を行っている指標がある中で、経営評価委員会の役割として、指標について、それぞれ一つ一つ評価していくものなのか。(出口委員)
- 経営評価委員会としては、横ぐしを刺して、全体として評価するものである。(朝日委員長)
- 時限的な計画ではあるが、評価はしていかなければならない。71個の個々の指標については、所管課できちんと管理していくものであり、本委員会においては、大枠での評価をして欲しい。(経営監理課長)
- 指標が空欄では淋しいと思うので、例だけでも記載した方が良いのではないかと。(荻野委員)
- 最終的な目標が知りたい。評価していくに当たっては、最終目標が分かるようにした方が良い。指標や数値でなくても、目指すべき姿が分かるとう良いのではないかと。(宮下委員)
- 指標は一つの参考として、取組ごとに評価をしていけば良いのではないかと。他の市

での経験上、行政が直接動かすことができる数字という似たようなものになってしまうのは仕方ない。

他市との比較の指標があっても良いのではないか。横ぐしだけの評価では、何が達成されたかが分かりにくい。アウトカムに対してどうPDCAが回せたかが分かるようにしてくれれば、良いのではないか。(田中副委員長)

- これだけでは分かりにくい。市民に分かりやすいものを記載すると良いのではないか。(竹田委員)
- この指標に載せるものは分かりやすいものが大事だが、評価することが本質なので、目標の実行性は大切である。どう表現するかと、どう評価していくかというのが課題である。(朝日委員長)
- 特殊な条件での戦略なので、可能な範囲で修正はしたいとは考えているが、対応できる部分が限られるものがある。評価の方法については、今の段階で決めるものではなくて、今後、さらに議論をして深めていきたいがいかがか。(経営監理課長)
- 評価の方法については、事務局の提案どおりだと考える。(朝日委員長)

### 3 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

以 上

## 相模原市経営評価委員会委員名簿

(任期：令和5年7月15日～令和7年7月14日)

区分	役職	氏名	備考	出欠
学識	委員長	あさひ 朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部 教授	出席
	副委員長	たなか ひろゆき 田中 啓之	相模女子大学人間社会学部 教授	出席
		ほうじょう ひろあき 北 條 裕晃	公認会計士	欠席
		みやした ともひさ 宮下 量久	拓殖大学政経学部 教授	出席
団体		たけだ みきお 竹田 幹夫	相模原市自治会連合会 会長	出席
		まつした りゅうた 松下 龍太	相模原商工会議所 青年部前会長	欠席
一般 公募		おぎの ゆきこ 荻野 弓希子	公募	出席
		でぐち ただお 出口 忠夫	公募	出席
		ないとう たくみ 内藤 巧	公募	出席
		やまもと ただお 山元 忠夫	公募	出席

(区分ごとに五十音順・敬称略)